



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



9月17日 医療従事者に新米コシヒカリを贈呈

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。



CONTENTS

全農自己改革

- ・銘柄集約で肥料価格引き下げにチャレンジ!!

営農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米穀情勢

肥料情報

- ・土壌改良で高品質な馬鈴薯づくりを!!

資材情報

- ・生分解性マルチで省力化と作業体系の効率化を

トピックス

- ・第12回関東乳質改善共励会においてJAきみつ生産者2名が優良賞を受賞!
- ・医療従事者に新米コシヒカリを贈呈
- ・千葉県産なし「豊水・あきづき・新高」消費宣伝を実施!

お知らせ

- ・始まっています みんながトクする JAでんき
- ・「JAの自己改革に関する組合員調査」千葉県版集計結果のご案内

全力結集で挑戦し、
未来を創る

全農自己改革の
取組状況

肥料事業

銘柄集約で肥料価格 引き下げにチャレンジ!!

皆様からの積み上げが生産コスト低減へ

○肥料の銘柄集約 ～令和3年春用肥料～

千葉県内では下記の一般高度化成肥料（一発肥料や微量要素、有機質などを含まない窒素リン酸加里のみの化成肥料）、普通化成肥料、苦土入り高度化成肥料の22銘柄を対象とし、11銘柄への集約に取り組んでいます。

銘柄集約による大量生産により、製造コストの削減と肥料価格の低減を実現します。

銘柄集約対象肥料名(左) と 集約後肥料(右)

成分タイプ	銘柄集約対象肥料名 (成分%)	成分タイプ	集約後肥料 (成分%)
低N・高PK	ファイト884 (8-18-14)	低N・高PK	化成肥料5-15-15 化成肥料10-16-16
	ワンタッチ化成008 (10-30-18)		
	チバカセイ086 (10-18-16)		
山型	A907 (12-18-16)	山型	化成肥料12-18-14 化成肥料14-18-14
	高度486 (14-18-16)		
	ふさこがね基肥専用464 (14-16-14)		
水平	根付化成高度13号 (13-13-13)	水平	化成肥料14-14-14 化成肥料16-16-16
	とびきり (14-14-14)		
	千葉化成444 (14-14-14)		
	りん加安42号 (14-14-14)		
	硫りん555 (15-15-15)		
高度16号 (16-16-16)			
L型	草地480 (14-8-10)	L型	化成肥料14-8-8
	L型高度688 (16-8-8)		
NK	ファイトNK (15-0-15)	NK	化成肥料17-0-17
	NK30号 (16-0-14)		
	NK化成C6号 (17-0-17)		
	NK化成C20号 (20-0-10)		
普通化成	エコ化成888 (8-8-8苦土1)	普通化成	化成肥料8-8-8 (苦土1)
	エコ化成7号 (8-8-5)		
苦土入り 高度化成	あきたこまち専用(10-20-15苦土5)	苦土入り 高度化成	苦土入り化成肥料10-20-15 (苦土5) 苦土入り化成肥料12-16-14 (苦土4)
	マップ264 (12-16-14苦土4)		

左の肥料を右
で示す成分の
肥料に集約い
たします。

組合員・生産者の皆様へ

組合員・生産者の皆様におかれましては、肥料の新共同購入運動にご理解をいただき、銘柄の集約と数量の積み上げにつきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

J A全農ちばのHPで取り組みを紹介しています。



紹介ページはこちらから

1. はじめに

8月の高温・乾燥により害虫が増えやすい条件が続いた影響もあり、9月以降は施設栽培（トマトなど）でコナジラミ類等の発生が見られています。10月は暖かく降雨も平年並みの予報が出ていることから、発生の拡大が予想されます。圃場をよく観察し、早期に防除を行いましょう。また台風が発生しやすい時期であるため、気象予報に留意し事前対策を心がけましょう。

2. トマト（コナジラミ類）

(1) コナジラミ類

県内ではオンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生します。葉のすす汚れに加え、タバココナジラミはトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介する恐れがあります。両種が混在して発生しますが、近年ではオンシツコナジラミの方が多く見られることもあります。また昨年は、一部の地域でトマト黄化葉巻病が多発生していましたので発生には注意しましょう。

薬剤使用時のポイント

- ア コナジラミ類は主に葉裏に寄生しています。葉裏にも薬剤がかかるよう散布しましょう。
- イ 白い成虫が目につく高さを飛んでいて気が付くことが多いですが、寄生は下葉から始まります。かがんで下葉を返し右のような幼虫・サナギが見つかった場合は、すぐに防除を実施しましょう。
- ウ 同系統薬剤の連用は避けましょう。



○トマト／コナジラミ類 防除薬剤 マルハナ影響日数に注意※下記に記載

薬剤系統	IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
マクロライド系	6	アフーム乳剤	2000	収穫前日	5回以内
		アグリメック	500～1000		3回以内
ネオニコチノイド系	4 A	ベストガード水溶剤	1000～2000		3回以内
スピノサド系	5	ディアナSC	2500		2回以内
ジアミド系	2 8	ベネピアOD ^{※1}	2000		3回以内
その他①	9 B	コルト顆粒水和剤	4000		3回以内
その他③	4 C	トランスフォームフロアブル	1000～2000		2回以内
その他④	3 0	グレーシア乳剤	2000		2回以内

※1 薬害回避のためアミスターなどのQol剤との混用、隣接散布不可

〈マルハナ影響日数〉

アフーム乳剤：2日

ディアナSC：1～3日

トランスフォームフロアブル：2～5日

アグリメック：7～14日

ベネピアOD：1日

グレーシア乳剤：1日

ベストガード水溶剤：10日以上

コルト顆粒水和剤：3～7日

3. ネギ（ネギアザミウマ・さび病・黒斑病・べと病）

(1) ネギアザミウマ

8月の高温・乾燥にともないネギアザミウマが多発生した圃場では、ローテーション散布による防除を心がけましょう。日中は葉上にいますが、夕方・夜間は株元の葉の隙間に潜ります。温度により変動しますが、卵～成虫までの生育が早く（約10～14日程度）抵抗性が発達しやすいので注意しましょう。



○ネギ／アザミウマ 防除薬剤

対象害虫	薬剤系統・IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アザミウマ類	ネオニコチノイド系（4A）	ベストガード水溶剤	1000～2000倍	収穫前日	3回以内
	スピノシン系（5）	ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日	2回以内
	ジアミド系（28）	ベネビアOD	2000倍	収穫前日	3回以内
	新規（－）	ファインセーフフロアブル	1000～2000倍	収穫3日前	2回以内

※ネギは野菜類の中でも特に農薬が付着しにくい作物です。展着剤を加用しましょう。

(2) さび病・黒斑病・べと病

病害は多湿の条件を好むので、長い降雨の前後には防除が必要です。また夜間にモヤ・霧が発生すると同じく多発の原因となります。降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ薬剤を使用しましょう。

ア さび病

一度発生してしまうと長期間発生が続きます。感染から発病までの期間が長く（14日程度）、一度発生してからでは防除が難しい病害です。葉にオレンジ色の斑点が生じるので早めに発生確認を行いましょう。

イ 黒斑病

葉身に輪紋状の病斑が発生します。台風・降雨のほか、樹勢が低下しても発生しやすいため、肥料切れ等にも注意しましょう。

ウ べと病

葉身が黄色くぼやけ、灰暗色～茶褐色のカビがみられます。やがて被害部から葉が折れてしまいます。水により蔓延するので降雨、モヤ、霧の後に発生します。



○ネギ／べと病・さび病・黒斑 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べと病	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫30日前	3回以内	予防・治療
黒斑病	2	ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
黒斑点・さび病*	M7	ベルコート水和剤	2000倍	収穫30日前	3回以内	予 防
	3	オンリーワンフロアブル	1000倍	収穫14日前	3回以内	予防・治療
	11	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前	4回以内	予防・治療

※アミスターはべと病も含む

園芸情報

販売経過および情勢

青果物 9月の販売経過

9月は南からの温かい空気が入りやすく、北・東日本では気温がかなり高くなりました。西日本では台風9号と10号の接近・通過等により降水量が多くなり、特に西日本の太平洋側では日照時間が少なくなりました。

9月の野菜の入荷量は、厳しい残暑の中にも降雨があり、8月の干ばつの影響が解消された品目がある一方、7月の梅雨明けの遅れの影響を受けた品目もあり、前年の96.8%となりました。だいこん、キャベツ、にんじん、ねぎ、ほうれん草などの主要品目は前年を下回る一方で、トマトは9月上～中旬に入荷が集中し、前年の111.0%となりました。

野菜の価格は前年の97.2%となりました。収穫の遅れが続いただいこんや干ばつの影響で小玉傾向となったキャベツ等、前年を大幅に上回る価格となった品目がある一方で、生育遅れから入荷が集中したトマトやレタス類は前年を下回りました。

国産果実の入荷量は前年の82.7%になりました。なしは主力となる「豊水」が開花期の低温とその後天候不順による作柄不良から前年を大きく下回りました。また、「シャインマスカット」を除くブドウ類や「つがるリンゴ」、「刀根柿」も前年を下回りました。

果実の価格は前年の127.1%となりました。全体的に前年を上回る品目が多い中、くりは小玉比率が高い上に加工需要の落ち込みの影響を受け、前年の90.7%となりました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（9月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	41,834	101.4	252	95.2
中 旬	40,299	95.0	242	94.9
下 旬	38,609	93.9	254	103.4
月 計	120,742	96.8	249	97.2

※上・中・下旬のデータは概算であり、月計と合わない場合があります。

JA全農ちばの販売状況（9月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	6,684	113	306	92	2,047	104
果 実 計	1,403	65	431	143	605	93
ほうれん草	41	76	811	120	33	91
ね ぎ	111	95	527	104	59	98
パ セ リ	8	108	1,585	120	13	130
き ゅ う り	275	92	311	115	85	105
ト マ ト	1,854	129	294	79	546	101
さ つ ま い も	2,402	117	222	96	533	113
さ と い も	463	84	267	93	123	78
な し	1,154	60	455	150	524	90

10月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量 (t)		価格 (円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	17,568	並	74	群馬 千葉 茨城	主力の群馬の生育は概ね順調で中旬まで潤沢な出荷を見込む。後続の茨城・千葉は高温乾燥の影響で一部遅れが散見されるものの概ね順調。価格は前年並みを見込む。
だいこん	やや少	11,155	やや高	81	青森 北海道	北海道は生育が前進し中旬には概ね終了を見込み、青森も中旬頃から出荷の漸減を見込む。千葉は15日以降に出荷量の増加を見込む。価格は中旬以降、引き合いが強まる見込み。
にんじん	並	8,308	やや高	108	北海道	北海道は干ばつの影響から肥大不足も回復傾向で入荷は前年並みを見込む。価格は早めの切り上がりから出荷漸減にともない底上げで前年をやや上回る見込み。
トマト	並	5,963	並	453	千福 茨城	抑制作は中段で花とびが散見され、上旬までは少なめの出荷を見込む。後続の愛知は中旬、熊本は下旬に出荷が始まり、総体では下旬に入荷増が見込まれる。
きゅうり	並	6,119	並	311	群馬 埼玉 福茨	東北産は成り疲れにより入荷は前年を下回る。後続の関東産の生育は概ね順調で上旬に出荷最盛期となる見込み。全体の入荷量・価格は概ね前年並みを見込む。
ねぎ	並	5,230	並	329	青森	主産地の稲刈りで、上旬までは少なめ。一方、前月は品質低下で防除に入り、出荷がずれた産地も多い。中旬以降は残量がやや多く、価格は前年並みを見込む。
ほうれん草	並	1,284	並	571	群馬 栃木 茨城 茨城 手	群馬・栃木など関東産中心の出回り。8月の高温の影響で入荷量は少なかったが10月は気温も下がり漸増傾向。価格も徐々に下がることが見込まれる。
パセリ	少	45	やや高	2,037	長野 千葉	千葉の秋冬作が出始めるが、主力の長野が夏場の長雨・猛暑により生育不良のため、前年を下回る出荷となる。総体量の不足感から価格は前年を上回る見込み。
さつまいも	やや多	2,775	やや安	258	千葉 茨城 徳島	入荷は肥大不足が散見されるものの、台風被害の影響で少なかった前年を上回る見込み。紅あずまの作付減少が顕著になっている。価格は前年をやや下回る見込み。

花 販売情勢

◆9月の販売経過【切花】

前年は、品目によっては生育遅れがあったものの、花き全般には各産地とも潤沢な出荷となり、彼岸需要期においては天候に恵まれたことから堅調な販売となりました。また残暑の影響から品目によっては下位等級の発生が平年より多くなりました。

本年は、8月は高温が続き、9月においても残暑が厳しい日が続きました。このため、菊類は産地によって生育の前進と遅れがみられ、不安定な入荷となりました。また輪菊、小菊においては下位等級が多く発生しました。

販売は、上旬までは花き全般の需要が落ち込み、厳しい販売となりました。その後、彼岸需要期においては、花き全般で品薄傾向となったことから活発な動きとなり、また天候に恵まれ量販・専門店の荷動きも好調で堅調な販売となりました。洋花においても、イベント・ブライダル需要は少なかったものの、品薄傾向で一般消費に支えられたことから堅調な販売となりました。

◆今後の見通し（11月）【切花】

高冷地が出荷の終盤となり、暖地へと主力産地が移行する時期となります。高冷産地においては、今後の天候次第では、菊類・カーネーション等において終了期が早まることが見込まれます。後続の暖地においては、現在大きな生育前進や遅れはなく、平年並みの数量見込みとなっています。

販売においては、コロナ禍でイベント・ブライダル需要が少なく、業務の動きは鈍い状況が続く見込みですが、輸入品が少なく、花き全般の入荷量が少ないため、量販・専門店においては順調な動きが見込まれます。



◆今後の見通し（10月）【品目別】

品名	作柄および概況
アイリス	新潟の出荷が主力。 猛暑の影響による作付け遅れから出荷開始が後ろ倒しとなる見込み。 また、新潟を中心に作付面積減となっているため、数量は前年を下回る見込み。
カーネーション	千葉・愛知・静岡・長崎の出荷が主力。 高冷地の出荷は終盤となり、暖地へのお荷へと切り替わるものの、端境期となるため入荷量は平年より少ない見込み。 ブライダル需要が見込めないため、品種による価格差が顕著になる見込み。
トルコキキョウ	熊本・福岡・静岡の出荷が主力。 熊本では作付面積増となっているものの、他産地については平年並みの数量を見込む。 ブライダル・葬儀需要が見込めないため、量販・専門店が中心の販売となる見込み。
鉄砲ユリ	宮崎・高知・岐阜の出荷が主力。 下旬以降、鹿児島の出荷が始まるものの、産地が切り替わりの端境となるため、価格は平年に比べ高値で推移する見込み。

米穀情報

米 穀 情 勢

1. 水稻の作付面積・作柄概況について（農林水産省9月30日公表）

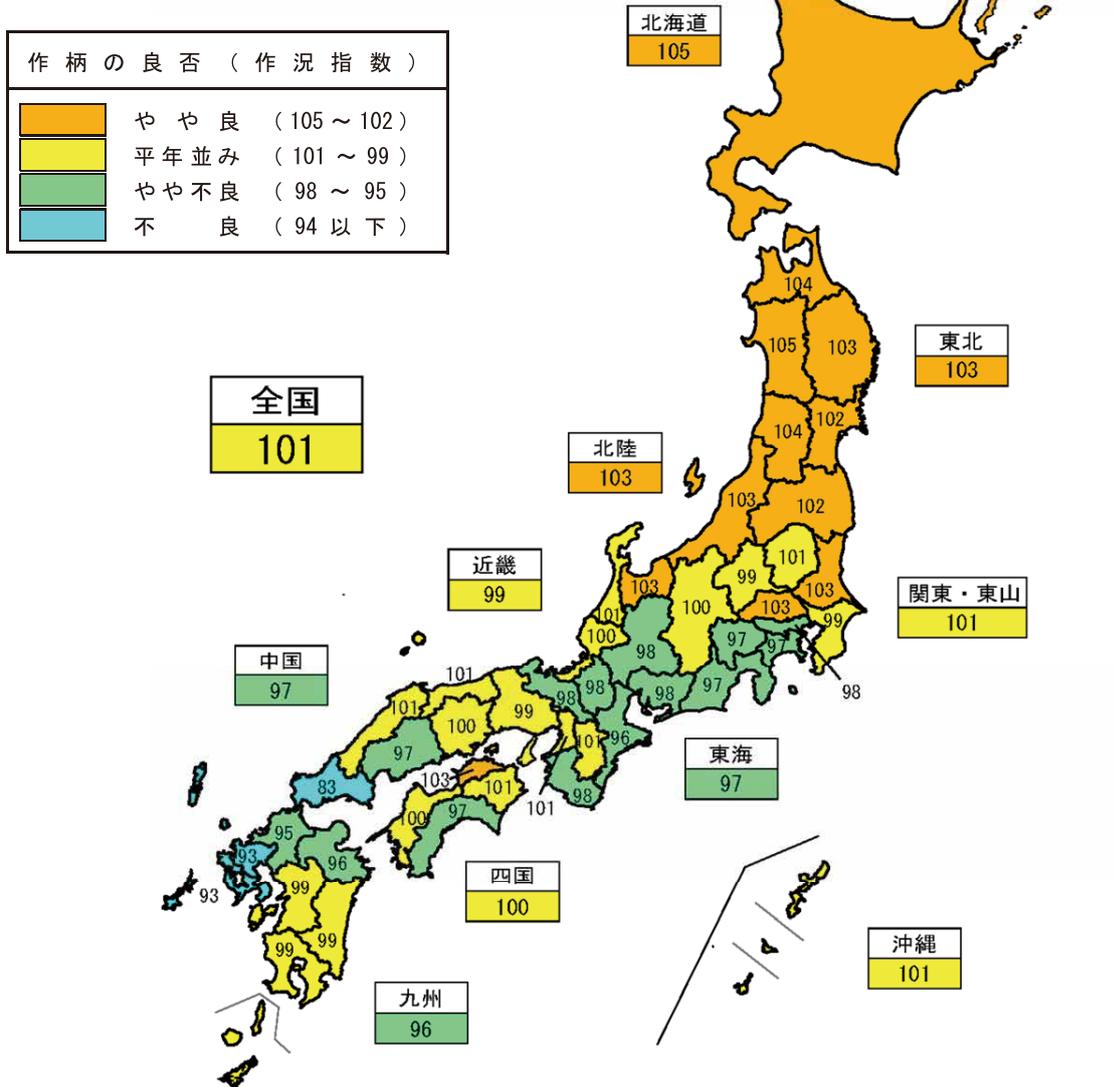
(1) 全国の動向

ア. 全国の令和2年産水稻全体の作付面積は、157万5千ha（前年産▲9千ha）、主食用作付面積は136万6千ha（前年差▲1万3千ha）と見込まれます。

イ. 作柄については、北海道、東北および北陸においては、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移していることから、10a当たりの予想収量は539kg（前年差+11kg）、作況指数は101となっています。

上記により、予想収穫量（主食用）は、734万6千トン（前年産差+8万5千トン）と見込まれています。

【図表1】全国の作況指数（9月15日現在）



(2) 千葉県の動向

ア. 千葉県の令和2年産水稻全体の作付面積は、60,200ha（前年差▲600ha）、主食用作付面積は52,500ha（前年差▲1,200ha）となっています。

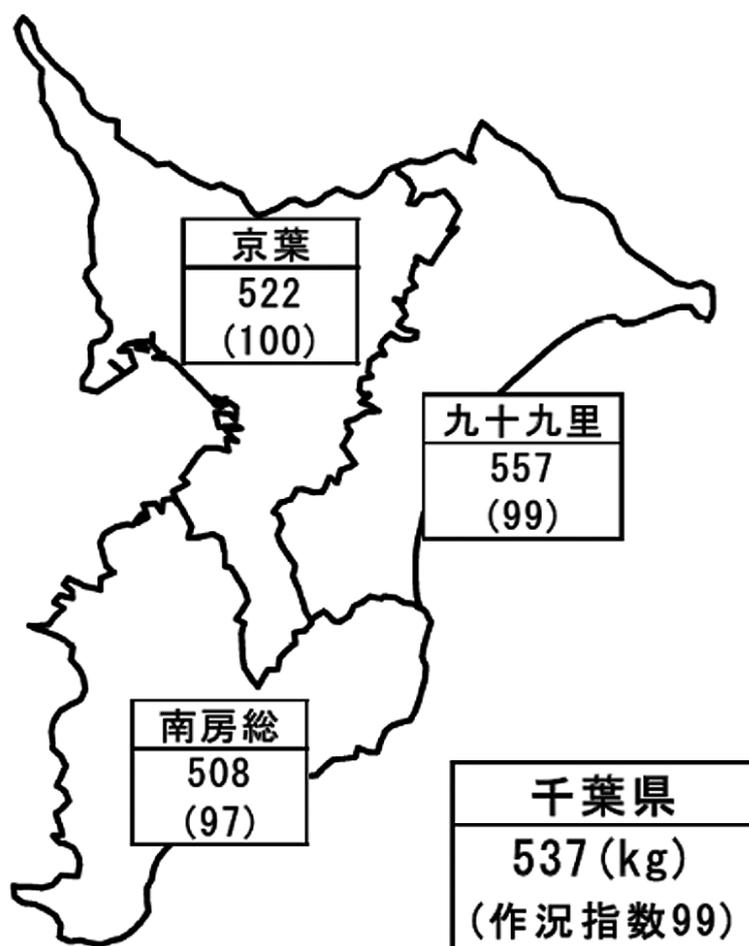
イ. 作況については、もみ数はやや多かったものの、出穂期の日照不足と雨により登熟に影響を及ぼしたことにより、作況指数は「99」（やや不良）となっています。

この結果、千葉県の10a当たり予想収量は537kg（前年差+21kg）となっています。

ウ. 地域別では、京葉522kg（前年差+17kg、作況指数100）、九十九里557kg（前年差+32kg、作況指数99）、南房総508kg（前年差△1kg、作況指数97）が見込まれています。

これにより、予想収穫量（主食用）は、281,900トン（前年産差+4,800トン）と見込まれています。

【図表2】 千葉県の10a当たり収量と作況指数（9月15日現在）



2. 今後の主食用米需給見通しについて

(1) 令和2/3年の見通し

農林水産省による令和2/3年の需要量見通しは715万トンとされています。

しかし、全中では、毎年約10万トン減少する米の需要とコロナ禍による外食・中食での需要減少を勘案して、令和2/3年の需要量見通しを農林水産省の発表より12万トン少ない703万トンになると見通しています。

令和2年産の主食用米の予想収穫量は、全国で734万6千トンと、前年より8万5千トンも増えています。

米の需要が減り収穫量が増えることで供給過多となり、このまま推移すると令和3年6月末の在庫は229万トンまで積み上がる可能性があります。この水準は、大幅に米価が下落した平成25・26年産当時の在庫水準を上回り、今後の米価に大きな影響を与えると懸念されています。

(2) 水田活用米穀の取り組み

上記により、令和3年産以降については、例年以上に生産者の皆様とJAグループが連携し、水田活用米穀への作付け転換を強化する必要があります。

ただし、水田活用米穀の中でも加工用、備蓄用、輸出用、米粉用については需要を満たしているため、主食用米からの切替えは、飼料用米を中心に取り組むこととなります。

【図表3】水田活用米穀の品目ごとの状況

加工用米	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飲食店の営業時間制限や巣籠り等により、主要用途の日本酒の消費が大幅減 2. コロナ禍以前の問題として、主要輸出先の韓国への日本酒輸出も激減 3. 冷凍米飯向け需要は一定の増加は見込めるものの、酒造好適米需要減をカバーするほどではない 4. 日本酒以外の用途である米菓・味噌なども、外国産米に席捲されている状況 5. 地域で流通する加工用米も行き場をなくす可能性大
輸出用米	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外市場では、コロナ特需も一段落するなど日本国内と同様の需要傾向 2. 巨大マーケットである中国向けの輸出規制緩和が待たれるところ 3. 主要輸出先であるシンガポール・香港などは、日本の各産地の売り込み合戦により価格競争激化
米粉用米	<ol style="list-style-type: none"> 1. 均質化した古米を使用する製造実態から、多くの製造メーカーは在庫を抱えている状況 2. 中小規模の製造メーカーが多く、追加購入する経営体力に乏しい
飼料用米	<ol style="list-style-type: none"> 1. トウモロコシの代替品として需要拡大の可能性が高い 2. ただしトウモロコシの国際相場に左右されるため、販売価格は不安定 3. 直近では、コロナ禍の影響でトウモロコシ相場が大幅に下落したため、価格は当初の想定より大きく下落
備蓄米	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年産米で提示枠全量を落札しており、数量増には備蓄米の運用改善が必要（5年持越の短縮・買入枠拡大） 2. 系統以外の業者の落札が増加傾向にあり、落札価格によっては系統以外の落札が更に増加する可能性あり 3. 保管倉庫の確保が困難な状況となっており、この状況は来年も継続の見込み

肥料情報

土壌改良で高品質な馬鈴薯づくりを!!

【馬鈴薯の土づくりポイント！】

1. 好適pH5.5～6.0と弱酸性を好みます。
2. そうか病の発病の恐れがある圃場でpH6.0以上ある場合、アルカリ資材の投入は控えてください。
3. カルシウム補給をすることで収量・品質向上が期待できます。

【馬鈴薯の栽培型と主な作業】

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培型	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
マルチ栽培												
施肥		●										
主要作業名		基肥	マルチ 植付け	芽かき				収穫				

**土壌改良材の投入により
収量・品質が向上！**

【オススメ土づくり資材】

肥料名	容量	施肥時期	施肥量（10a当り）	特長
畑のカルシウム	20kg	基肥 追肥	100kg / 10 a 60kg / 10 a	土壌 pH を変えずにカルシウム補給が可能！
アヅミン	20kg	基肥	40～80kg / 10 a	腐植酸補給資材土壌の保肥力をアップ！
フミカルアップ	15kg	基肥	105～150kg / 10 a	カルシウム・腐植酸・有機物を同時施用。省力的な土作り！
レオグリーン特号	20kg	基肥	200～300kg / 10 a	堆肥投入が大変な方にオススメ。ペレット状で機械散布も可能！
苦土重焼燐	20kg	基肥	40～100kg / 10 a	リン酸を補給し根の発達を促進！
粒状貝化石	20kg	基肥	60～100kg / 10 a	土壌物理性の改良、カルシウム・微量元素の補給に！

【オススメ基肥肥料】

肥料名	容量	保証成分	施肥量（10a当り）	特長
馬鈴薯専用化成	20kg	12-20-14 -フミン3.5	100～160kg / 10 a	緩効性チッソ・高リン酸で省力化。フミンで土壌腐植増加。
ポテト王	20kg	10-15-10	100～160kg / 10 a	高リン酸の低コスト型馬鈴薯専用肥料

資材情報

生分解性マルチで 省力化と作業体系の効率化を

生分解性マルチとは、使用後はロータリー耕等で土中にすき込むことで、土中微生物の働きにより、最終的に水と二酸化炭素に分解される資材です。

そのため、収穫後、圃場での重労働であるマルチの剥ぎ取り作業は不要となり、かつ廃プラ処理が不要となることから、『省力化資材』かつ『環境にやさしい資材』です。

1. 生分解性マルチの普及状況

生分解性マルチの国内普及率は約9%ですが、近年はその伸び率が高まっています。

〈日本における生分解性マルチの需要量（普及状況）〉

	H22	H23	H25	H27	H29	H30
農ポリ（t）	36,400	36,300	36,200	35,700	35,000	34,500
生分解性マルチ（t）	1,600	1,680	1,814	2,286	3,043	3,416
マルチ全量（t）	38,000	37,980	38,014	37,986	38,043	37,916
生分解性マルチの割合	4.2%	4.4%	4.8%	6.0%	8.0%	9.0%

※ABA（農業用生分解性資材普及会）公表数値より

2. 生分解性マルチ導入のメリット

(1) マルチ剥ぎ取り作業からの開放

収穫後はそのまま土中にすき込むことができるので、マルチ剥ぎの重労働から開放されます。また、繁忙期は収穫後の片付けと次の作付け準備が重なりますが、生分解性マルチを導入することで、片付けの手間と時間を大幅に削減でき、規模拡大が可能になったといった事例も報告されています。

(2) 廃プラの削減

生分解性マルチを使用することにより、通常のポリマルチであれば発生する廃プラの調整、運搬の手間や処理料がかかりません。

導入を検討する場合は、単純に製品価格を通常のポリマルチと比較するのではなく、年間を通じた作業体系や労働時間の配分の見直しを前提に判断することが重要になります。

3. JA全農ちばの主要取扱銘柄

「きえ太郎Z」（「コーンマルチⅡ」改名）、「カエルーチ」、「キエ丸」

お問い合わせは最寄りのJAまたは
JA全農ちば資材課（043-245-7379）へご連絡ください

TOPICS

第12回関東乳質改善共励会において JAきみつ生産者2名が優良賞を受賞！



第59位 井内伸和氏



第98位 羽石敬史氏

令和元年度に生産した生乳の乳質を競う「第12回関東乳質改善共励会」で、千葉県を含む8県（千葉・茨城・群馬・栃木・埼玉・東京・山梨・静岡）の全2,019名の生産者の中から、JAきみつ管内で袖ヶ浦市の井内伸和さんが第59位、羽石敬史さんが第98位にランクインし優良賞を受賞しました。

同共励会は、年間をとおして月3回実施される乳質検査の乳脂肪分や無脂固形分などの成績を競います（去年は台風等の被災による影響を鑑み9月と10月の結果を除いた10か月分で審査）。井内さんは昨年到现在2年連続受賞、羽石さんは初の受賞となりました。お二人は去年の台風で停電や畜舎損壊の被害を受けましたが、日頃の飼養管理の成果があらわれ受賞となりました。今後も良質乳の生産が期待されています。

JA全農ちば畜産部では、全農クリニックセンター（佐倉市）と連携した専門的な乳質分析の推進や酪農コンサルタントの巡回による乳質改善に取り組んでいます。

同共励会は、年間をとおして月3回実施

TOPICS

医療従事者に新米コシヒカリを贈呈

JAグループ千葉は、9月17日に米の消費拡大運動の一環として、千葉大学医学部附属病院の医療に携わる約2,900人の全職員に、日頃のご尽力に対する敬意と感謝を込めて、千葉県産の新米「コシヒカリ」2kgを贈呈しました。

JAグループ千葉を代表し、林茂壽会長より千葉大学医学部附属病院の横手幸太郎病院長に目録を贈呈しました。

林会長は「健康で安心して生活を送れるのは、医療に携わる皆様のおかげです。今年は、コロナ禍の中、大変ご苦労をされている医療に携わる皆様に感謝を込めて、JAグループからささやかではありますが、千葉県の生産者の方々が、丹精込めて作った新米「コシヒカリ」をお送りさせていただきます」と挨拶されました。

横手病院長は「パン食などが増えていくなか、ごはん、美味しいお米は、日々の活力となる。引き続き、人々の健康と安心できる生活を支えていきたい」と感謝の言葉を述べました。



TOPICS

千葉県産なし「豊水・あきづき・新高」消費宣伝を実施！

8月22日～9月22日にかけて、千葉県・千葉県果樹園芸組合連合会・JA全農ちばは、“豊水・あきづき・新高”なしの消費宣伝を実施しました。千葉会会員卸売市場の協力により、首都圏の百貨店や県内量販店の6店舗で品種リレーしながら販売しました。今年は、新型コロナウイルス感染防止対策から試食販売ではなく、「ポスター・品種別POP」等の販促資材を活用して売り場を装飾し、マネキンによる推奨販売を実施しました。

今年は4月の低温と7月の日照不足から主力である関東の各産地で着果不良が散見され、幸水梨は小玉傾向、豊水梨では「みつ症」の発生、あきづき・新高梨も果実の肥大不足から平年より出荷量が少ない状態が続きました。そのため、市場価格は平年より高い状況が続き、店頭価格にも影響



したことから、「鮮度」と「品種の特徴と味の違い＝美味しさ」を消費者に丁寧に「味が自慢の千葉のなし」をPRしました。

JA全農ちばは今後も関係機関と連携し、更なる認知度向上・消費拡大に向け県産青果物の販売促進活動を実施していきますので、産地の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

始まっています！

みんなが
トクする

JAでんき

JAでんきとは

組合員のみならず日々ご利用されている電気の料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気です。切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

手続きも
安心
担当者が
直接ご訪問

詳しくは、JAでんき ホームページまで

JAでんき

検索

<https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/>



JAでんきの
料金計算も
できるよ

お申し込み・ご相談は下記のJAでんき代理事業者へ、おトクな料金メニューをご紹介します。

JAだから

- 簡単！
- 安心！
- 安い！

お問い合わせ・お申込み先 株式会社JAエネルギー千葉

成田 ☎0479-75-1580 柏 ☎04-7197-2130

県南 ☎0439-35-3363 安房 ☎0470-40-4155

※JAでんきの小売電気事業者（登録番号A0310）は全農エネルギー株式会社です

「JAの自己改革に関する組合員調査」 千葉県版 集計結果のご案内

Aguricluture news

回答者数

約 **11.7** 万人

自己改革への評価

期待度 約7～8割が「期待している」

満足度 約6割が「満足」

改善度 約8割が「改善した」「もともと良い」

JAの必要性

約9割が「必要な存在だと感じる」

総合事業の継続

約9割が「総合事業を継続すべき」

農業や地域づくりの応援

約9割が「応援したいと思う」

准組合員の事業の利用の制限

約9割が「制限しない方がよい」

JAグループ千葉マスコットキャラクター
チパンダくん



○最終調査結果は、令和2年4月10日までに回収された原票について集計を実施したもので、千葉県の有効回答数は117,401件と非常に多くの回答を頂きました。

○JAの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約8割。また、約9割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声も頂いています。

○JAグループ千葉はこれからも、組合員との対話を大切に、組合員の声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用いただくことで、農業と地域を支えてまいります。

調査期間

平成30年12月～令和元年12月

調査対象者

全国の正・准組合員

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、平成30年12月から昨年12月まで、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しました。

本調査では、千葉県で117,401人（全国で3,902,603人）の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、最終結果としてご報告いたします。



組合員の皆さまと可能な限り直接お会いして調査にご協力いただきました。



ホームページからも調査結果を確認できます。



JAグループ千葉
耕そう、大地と地域のみらい。
<https://www.ja-chiba.or.jp>



応援します!!
“千葉県農業”

第45回 JAグループ千葉 農業機械大展示会

“農機チャンス祭”

ただ今開催中!

各社より この秋おすすめの
最新機械情報掲載!

おすすめ商品 共同購入トラクター



実施期間

令和2年 9月1日 ~ 11月30日

お知らせ

例年、10月中旬に開催してまいりました「JA グループ千葉農業機械大展示会」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度は、各農機メーカーの商品を集約した「紙面展示会」として開催いたします。なお、紙面展示会についての詳細につきましては、最寄りのJA農機センターへお問い合わせください。

WHAT'S

チャンス祭

現在のコロナウイルス状況禍を「ピンチ」ではなく「チャンス」に!

新たな商品・技術や情報に出会う機会(チャンス)に!



■主催:全国農業協同組合連合会千葉県本部 ■共催:千葉県農協農機事業連絡協議会

農機チャンス祭
紙面展示会とは?



JAグループ千葉がこの秋おすすめの商品情報を掲載したカタログをお届けします。

お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆様との情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る
個人情報取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

80. Love TOKYO FM

TODAY'S AGRI NEWS
EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

6:30~6:35 毎週(月~金) 生放送
新鮮農業情報をお届けします。

あぐりずむ
WEEKEND

9:30~9:50 毎週(土) 放送
生産者の熱い思いをお届けします。

全国 ZEN-NOH
COUNTDOWN
JAPAN

13:00~13:55 毎週(土) 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

